

委員会の活動状況

予算決算特別委員会

委員長 さかえ章演

12月7日、12日、13日、14日、18日、20日に開催しました予算決算特別委員会に付託されました案件は、議案6件でした。

◇主な審査内容

◎第49号議案

福祉文教分科会で、児童館開館時間延長事業について質疑があり、「児童館の開館時間の延長を白鳳児童館で試行し、中高生にも利用いただく」との答弁でした。

都市環境分科会で、着地型観光商品開発事業について質疑があり、「この事業は、紅茶をテーマにした観光商品の企画だが、当観光プランを内外にPRし、事業終了後も継続して販売する予定で、市内のにぎわいや消費につなげていく」との答弁でした。

総務分科会で、消防グッズ製作事業について質疑があり、「消防士を災害等から守り抜いた防火服などから作る『消防まもり』を製作し、トイカプセル機（ガチャガチャ）により出初め式や消防関連イベント等で300円で販売する。製作個数は500個」との答弁でした。

◎第66号議案

福祉文教分科会で、住民税非課税世帯等価格高騰給付金給付事業（追加分）について質疑があり、「令和5年度住民税均等割非課税世帯は、令和6年2月中旬頃に確認書を送付し、返送を受領後、おおむね3週間で指定口座に7万円を振り込む予定」との答弁でした。

◇審査結果

第49号、第50号、第51号、第52号、第53号議案は賛成多数、第66

号議案は全員賛成で可決しました。

福祉文教委員会

委員長 秋田さとし

12月12日、20日に開催しました福祉文教委員会に付託されました案件は、議案3件、請願1件、陳情3件でした。

◇主な審査内容

◎第62号、第65号議案は、特に質疑はありませんでした。

◎第67号議案

国民健康保険税条例の一部改正について、既に低所得者軽減が適用されている世帯に、産前産後期間の免除措置を適用する場合の内容について質疑があり、「低所得者軽減が適用されている場合は、軽減後の均等割額から減額する」との答弁でした。

◇審査結果

第62号、第65号、第67号議案は、全員賛成で可決しました。

請願第2号、陳情第14号は、可否同数となり、委員長の裁決により不採択としました。

陳情第13号の2、陳情第15号は、賛成少数で不採択としました。

都市環境委員会

委員長 安田吉宏

12月13日に開催しました都市環境委員会に付託されました案件は、議案3件でした。

◇審査結果

第61号、第63号、第64号議案は全員賛成で可決しました。

◇主な審査内容

◎第61号議案

尾張東部衛生組合理約の変更について質疑があり、「施設更新に向けて県の担当部局と協議を行った際に、今後生じる様々な決定事

項に関して決定に至った経緯を含めて、住民に対して説明できるようにしておくことが重要である旨の助言があり、構成各市から副管理者を選任することにより、構成各市がそれぞれ意思決定に関与する体制が明確化され、組合執行機関としての立場で検討協議決定が詰められることが図られる」との答弁でした。

◎第63号議案

財産の処分について質疑があり、「令和4年8月に締結した『尾張旭市長久手市衛生組合の解散に係る解散後の事務及び財産の処分に関する覚書』において、旧香流苑閉鎖業務が完了した後、長久手市は、本市が所有する旧香流苑の土地及び建物の持分を全て買取するとしており、令和4年度に閉鎖業務が完了したため、本市及び長久手市の双方が令和5年度当初予算に土地売買に伴う歳入予算、歳出予算を計上し、事務を進めている」との答弁でした。

総務委員会

委員長 市原誠二

12月14日に開催しました総務委員会に付託されました案件は、議案5件、陳情1件でした。

◇主な審査内容

◎第57号議案

職員の給与の増額幅について質疑があり、「一律の増額ではなく、若手層を中心に手厚い増額幅となっている」との答弁でした。

◎第60号議案

これまでの尾張旭市総合計画基本構想との違いについて質疑があり、「これまでの『都市の成長』に加え、『人を中心』の計画とした。また『市民参画』に重きを置

いて基本構想を策定した」との答弁でした。

◇審査結果

第54号、第59号、第60号議案は全員賛成、第56号、第57号議案は賛成多数で可決しました。

また、陳情第13号の1は賛成なしで不採択としました。

議会運営委員会

委員長 陣矢幸司

12月19日に開催しました議会運営委員会に付託されました案件は、議案1件でした。

◇主な審査内容

◎第55号議案

議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について、議員の報酬と期末手当について、県内各市の特別職報酬等審議会の答申を基に、どのような対応になっているかにつ

いて質疑があり、「直近では、県内の名古屋市及び本市を除く36市の対応予定について、期末手当については36市が引上げ、月例給については答申まで終えて引き上げるところが5市、据置き予定が10市、その他の市は、報酬審が開催前のため未定」との答弁でした。

◇審査結果

第55号議案は賛成多数で可決しました。

委員会の行政調査報告

議会運営委員会

委員長 陣矢幸司

11月6日・7日に大阪府高石市及び堺市を訪問し、行政調査を行いました。

高石市では、「市議会における災害時の対応」について調査を行いました。

地震による津波災害に対する防災意識が高く、全市を挙げての防災訓練は、毎年11月1日の平日に行い、参加者は1万人前後にも上るとのことでした。

高石市議会では、災害時に使用できるよう常時携帯用の手帳を作成し、議員それぞれが、どのように行動するかが詳細に決められています。

本市議会においても、今後「市議会におけるBCP（業務継続計

画）」を検討するに当たり、大変参考となる調査となりました。



高石市にて

堺市では、「オンライン委員会」について調査を行いました。

議事運営等に関する申合せやオンラインによる委員会出席の手引などの説明を受けました。

課題としては、議員側の安定した通信環境の確保を始め、不慣れた議員へのサポートや通信に係る費用負担が挙げられました。

また、オンライン出席の要件に

育児・介護を加えるかどうかについて現在も検討を続けているとのことでしたが、現状席を外せない規定となっているなど、取扱いについて運用面で難しい部分があるとのことでした。

今後本市議会も「オンライン委員会」について検討するに当たり、同様の課題が生じる可能性があるとの認識でき、大変参考になりました。



堺市にて

編集後記

3、4ページに議案などの賛否結果を表にして掲載しています。表を見ると、討論に立った議員は延べ23名。

12月議会で活発な討論が行われたことが分かります。議会に委ねられた判断について、なぜ反対なのか、あるいは賛成なのか、理由を議事録に刻むことは大切です。後の検証にも役立ちますし、考え方を提供します。

川村つよし

議会広報委員会

委員長	川村つよし	
副委員長	芦原美佳子	
委員	いとう伸一	大島 もえ
	勝股 修二	陣矢 幸司
	谷口 武司	
副議長	松原たかし（オブザーバー）	